

第 81 号 2020 年 12 月 27 日

天地有機

会員向情報誌 編集・発行

特定非営利活動法人
日本有機農業生産団体中央会

東京都千代田区外神田 6-15-11

電話 03-5812-8055

公示及びご参集のお願い

2020 年はたいへんな年でした。年明けに始まり、なお拡大をつづけるコロナウィルス。夏から秋の九州の水害と台風。被害にあわれた方々に、あらためて心からお見舞い申し上げます。お亡くなりになられた方々のご冥福を心からお祈りします。

下記要綱において、特定非営利活動法人日本有機農業生産団体中央会の 2021 年の年次総会を開催します。厳しい折お忙しいことと思いますが、希望をもってぜひご参加をお願いします。

特定非営利活動法人日本有機農業生産団体中央会
理事長 齋藤修

記

1. 期日及び時間

総会 2021 年 1 月 23 日（土）午後 4 時 30 分から。記念勉強会 午後 2 時 15 分から

2. 会場：オンライン

3. 議題

①2020 年次事業報告

②2020 年次会計決算報告

③2021 年次及び 2022 年次事業計画 ④2021 年及び 2022 年の年次予算計画

⑤定款の一部改正

⑥役員改選

●総会記念勉強会 時間：午後 2 時 15 分から午後 4 時 15 分

テーマ：有機穀物の生産と経営を考える

報告① アグリシステム株式会社 代表取締役社長 伊藤英拓氏

報告② 株式会社金沢大地 代表取締役 井村辰二郎氏

もくじ

1p: 2021 年次総会の公示

2p :生産者紹介 黒澤重雄氏 水稻 50 町歩
雑草対策は田植え前が勝負

7p: 会員紹介 株式会社マルタ オーガニック開発プロジェクトチーム

8p: 有機同等性の拡大と利用の手続き

13p: 2020 年の規格・基準の改正

生産者紹介 黒澤重雄さん 有機農産物の生産行程管理者

宮城県遠田郡涌谷町吉住字裏越 274

水稻 50 町歩

雑草対策は田植え前が勝負



黒澤重雄氏が 50 町歩になる水稻栽培を行うのは、宮城県遠田郡涌谷町。東北大震災では震度7を記録したところ。仙台市より北東に 40km から 50km ほどのところで旧北上川の流域にあたる。黒澤さんは自らの栽培方法を自然農法と呼んでいる。話を聞くとそれは、有機農産物の日本農林規格の最も原則的は方法と思える。当該地の自然の力を十二分に生かし、農薬はもちろん、外部から投入する肥料も使用しない。それでいてしっかり収量もある。黒澤重雄氏の圃場を訪ねて感じることは、①水生動物が非常多的こと、②入念な雑草対策の様子がうかがえること、③ずっと深水管理がおこなわれ前年秋に残されたはずの稲わらの分解がとても早いことだ。栽培する品種も多い（写真黒澤氏）。今回編集委員

の外山浩子が話を聞いた。（編集部）



ひとめぼれ 9 月初め （2017 年）8 条おきに 1 条空けている。除草機のあとに残る

●原点はじいちゃんの言葉

「おてんとうさんと、田んぼと水があれば米はできる。米は採るものではなく感謝して頂くもの」。黒澤さんは開口一番、こんな印象的な言葉を口にした。「これは 86 歳で亡くなったじいちゃんの言葉です。子どものころからじいちゃんといっしょに田んぼへ行き、じいちゃんの手伝いをしていたのですが、この言葉を聞いたたびに、子どもながらも素晴らしいなあと感じていました。これが自分の原点かな」

じいちゃんは子ども 8 人を育てながら一代で家を築き上げたという。分家も 2 つ出した。分家を出すために十数キロ離れた隣町まで行き開墾もした。開墾地では今で言う深水栽培で米を育てた。収量はさておき実りは素晴らしく良かった。今でこそ深水栽培という栽培方法が確立されているけれど、当時は未だ知られてさえいない。「開墾地が湿地帯だったため、その土地に適した作り方をしたら、自然と深水栽培になっただけ」という。「機械もなく全て手作業の時代、じいちゃんは自然を見て、自然を感じ、自然と対話しながら、自然と共に生活し、謙虚に仕事をした人だった。必要以上に欲を出してはいけないこともじいちゃんから学んだ」。黒澤さんはじいちゃんの話を一気に語って下さった。

●約 50 町歩の田んぼは全て自然農法

黒澤さんは稲作専業農家である。農薬も化学肥料も使用しないいわゆる自然農法で 50 年以上米を作り続けている。現在の経営面積は 50 町歩以上。全圃場自然農法だ。主たる労働力は黒澤さんと息子の伸嘉さん、そして常雇の従業員 1 人。繁忙期にはアルバイトを雇う。機械装備は 6 条のコンバイン 2 台、8 条の田植え機 2 台、トラクター 4 台、除草機 4 台。ササニシキ、コシヒカリ、ひとめぼれ、トヨニシキ、亀の尾、山田錦等のほか、おもてなし、おもてなし極、夢しぐさなどの

除草作業 2019 年



5 月 24 日



6 月 9 日



7 月 13 日

プライベートブランドまで十数品種を栽培している。従って稲刈り時期も長く、毎年 8 月 20 日前後を皮切りに、11 月 20 日頃の山田錦を最後にその年の稲刈りが終了する。有機認証には 2000 年から取り組み、2020 年現在、有機中央会での認証取得圃場は 778a になった。

黒澤重雄氏の除草機

●「稲の目線で考える」

黒澤さんの 1 年は田んぼへの挨拶から始まる。正月三が日、お宮詣りよりも先に、100 箇所点に在する全ての田んぼを 3 時間かけて回り、心をこめて田んぼに年初の挨拶をする。

田植え後は、雨が降ろうが何があるだろうが、毎朝必ず 4 時には田んぼの様子を見に行く。全長 55 キロの行程だ。そんな黒澤さんを見て「お父さんの愛人（＝田んぼ）が待っているからね」と妻は笑う。観察しては撮影する田んぼの写真は年間 1 万枚にのぼる。用水が止まる 8 月 31 日には、お礼と感謝の意を込めて 1 枚 1 枚の田んぼに深々と頭を下げて回る。そして 11 月、最後の稲刈りが終わると、一抹の淋しさが胸をよぎる。

こうやって黒澤さんは毎日毎日田んぼ 1 枚 1 枚を隅々まで観察している。そして黒澤さんの目は稲の目になる。「一番大切なことは自分の目線ではなくて稲の目線で考えること」と黒澤さんは言う。例えば種籾の浸種は積算温度 100℃というけれど、黒澤さんは氷点下でも浸けることがあるし、出穂期からの積算気温で稲刈り時期を出す人もいるけれど、黒澤さんは田んぼの様子を窺いながら決める。「計算で割り出したことは一度も



ない。稲の目線から考えれば分かることだから」。

●雑草対策は田植え前が勝負

雑草対策は冬場の仕事で重要で、田植え前に勝負が決まる。まず、稲刈り後、45 日～60 日間、田んぼの土をよく乾燥させる。宮城県は幸い冬に田んぼが乾燥する地域である。

「稲を刈った後、根が残るでしょ。その根が枯れると田んぼの土に無数の穴が空いている。その根っこの穴を通じて酸素を取り込んだり、水が蒸発したりする」。これが来年の米作りにとってとても大切なのだという。土が完全に乾燥した後、切り藁は全て田んぼに戻し、表面だけ 3～5 センチほど耕す。この「3～5 センチ」も重要なポイントだ。「不耕起栽培をしたいけれど、不耕起ではどうしても雑草が出てしまう」ので、12 月～4 月の田植え前までに耕起 3 回、田植え前の時期に代掻き 3 回（1 回につき 2 回ずつ代掻きをするので、合計 6 回）、シーズン中に除草機を 3 回かける。「こうして冬仕事をしておけば、田植え後 1 カ月経っても雑草は出ない」と黒澤さんは言う。「草を見ずして草を取るのが農家。雑草が出てきたら、除草機で刈る以外方法はないですから」。

この雑草対策のヒントになったのが「畑は寒堀しておくと言草が出ないよ」というじいちゃん言葉だった。田んぼにも応用できるのでは、と考えたのである。

黒澤さんの雑草対策はこれのみである。

土作りはどうか。「堆肥を作っていた時期もありましたが、年数を経ると堆肥は不要になった。田んぼに除草機を 2～3 回入れれば、稲藁だけで分解して PNKMg といった養分が出てくるようになる」と言う。それで収量は？「慣行栽培や、環境保全型農業に取り組ん

黒澤氏の除草機



でいる隣の田んぼと比べても遜色ないですよ。このあたりの平均収量の9俵／1反はとれますから」と電話の向こうで笑う。「秋になって田んぼを見れば、結果は明らか」なので、周囲の農家もかつてとは異なり協力的だという。

●信念と思い

黒澤さんはこれまで社会的経済的な信念を持って生きてきた。「農家は補助金をあてにしていたらダメだ。減反補助金だとか戸別所得補償だとか、補助金といっても結局国民の税金でしょ。自立経営としての、一事業者としての認識と誇りを持たなければいけない」「TPPにも反対しない。資本主義の最たるものだと思うけれど、それでも対応していけるような農業でなければ生き残れない」ときっぱり。と思った瞬間、穏やかな口調で「田んぼに心と書いて何と読む？」と尋ねられた。あっ、「思」という漢字だ。

確固たる信念の下、田んぼに心を寄せ、田んぼの声を聞き、田んぼを思う。それは徹底的な観察眼と研ぎ澄まされた洞察力とガッチリと積み上げられた経験に基づく的確な判断にほかならない。そんな黒澤さんの目に映る黒澤さんの田んぼが見えた気がした。

(外山浩子記)

上野にも四季があった 晩秋から初冬

山茶花と紅葉



コロナウィルスで本会の事務所も在宅勤務、時差出勤などの対策をとっている。私は事務所籠りの日々がつづいている。検査はリモートでお願いし、講習会や会議はオンラインで、24時間事務所にこもっていると体調が悪くなる。初夏の頃には足がむくむ。早朝の時間に上野公園、不忍池、墨田川界限を自転車で行くことにした。思いのほか、四季折々の変化に驚かされる。雨の季節の紫陽花、夏の蓮の花、秋の紅葉。赤い紅葉に黄色の紅葉、櫟も黄葉と紅葉がある。また山茶花がことのほかきれいだ。体調も良い。(加藤和男)

会員紹介

株式会社マルタ オーガニック開発プロジェクトチーム

有機農産物の販路拡大を

有機生産者のみなさん、ぜひご一報ください

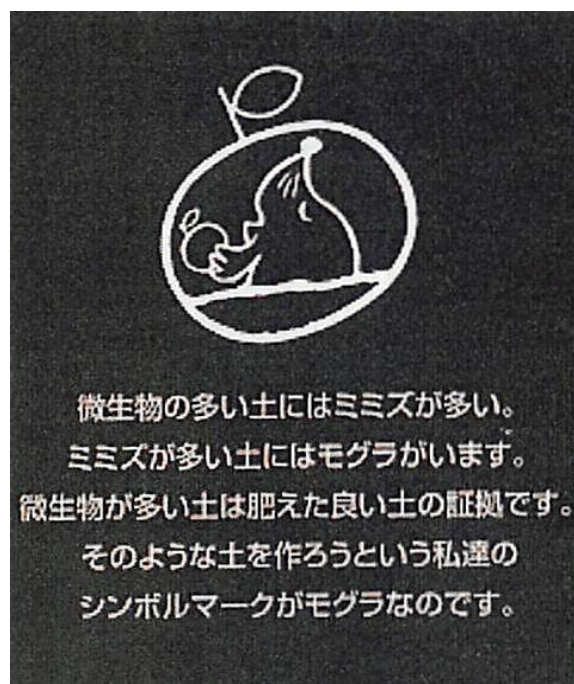
オーガニック開発プロジェクトチーム 石川晃氏に聞く

株式会社マルタは、昔、マルタ有機農業生産組合と呼称していた。1974 年、甘夏みかんの発祥の地、熊本県田浦町に生まれた。田浦の田を○で囲んでマルタしました。有機農業を農の主流することを標榜して誕生した。23 年前有機中央会の設立にあたっては、その中心となった組織です。

株式会社マルタと名を改め、現在全国 1,600 名の農業生産者が株主となって、年間事業規模 84 億の組織です。有機取り扱いは、12%約 10 億です。

オーガニック開発プロジェクトチーム、略して OPT。昨年立ち上げました。有機農産物の販路を拡大し、有機農業の普及を推進することを目的とした専門チームです。

有機の販売先は、
量販店
生活協同組合
有機専門店
などがあります。



●使い勝手の良い有機野菜、加工食品の原料供給、有機野菜のアソート

有機野菜の素朴な加工品の開発を進めたいと考えています。有機の用途別カット野菜、冷凍野菜など、使い勝手の良い有機野菜です。

有機のみそやしょうゆの原料供給も手掛けています。

多くのお店で有機の取り扱いを進めるためにアソートが必要とも考えています。複数の野菜を 1 店舗で売り切れる数量をボックスに詰め合わせて販売店に送る。このために、有機の小松菜を出してくれるところ、有機の胡瓜を出してくれるところ、有機トマトを出してくれるところ。あわせていろんな野菜をセットにして、有機野菜を新鮮なうちに販売できるようにすることなどが、販売拡大にとって重要と思っています。(次頁につづく)

求む

供給してくれる有機生産者を求めています。有機農産物の出荷が可能な生産者、つくってみたいという生産者、ぜひご連絡ください。

●学校給食に有機を

ぜひ進めたいのが、学校給食に有機です。ごはんを有機に、カレーのじゃがいもや人参を有機に。子供たちに有機を食べてほしい。

●有機農業参入促進協議会の事務局も務めます。有機農業参入促進協議会では、新規参入者の生産の研修先の紹介、有機栽培技術の勉強会や研修会、たい肥づくりの体験学習、経営的な相談窓口も務めています。

連絡先： オーガニック開発プロジェクトチーム
担当 石川晃 03-5818-6961

有機同等性の拡大と利用の手続き

●有機 JAS 制度と同等性を有する国●

●同等性を利用した有機輸出の方法●

2 月より台湾も加わっています。7 月に有機畜産物が指定農林物資になったことから適用範囲が拡大しています。イギリスの EU 離脱により 2021 年 1 月からイギリス向けの方法が変わります。

互いに相手国の有機認証制度を自国の有機認証制度と同等と認め、相手国の認証を取得しなくても自国の認証で相手国内でも有機表示を可能にする、いわゆる同等性が拡大しています。それらの国々と有機輸出する方法について、解説します。

1. 同等性のある国と地域

有機農産物か有機畜産物かによって異なりますが、以下の国々や地域と同等性協定が結ばれています。

① 有機農産物及び有機農産物加工食品 (有機畜産物を含まない)

アメリカ合衆国、アルゼンチン、英国、オーストラリア、カナダ、スイス及びニュージーランド並びに EU 加盟国 (27 か国)、台湾

② 有機畜産物及び有機加工食品

アメリカ合衆国、オーストラリア、カナダ及びスイス

2. EU 諸国への輸出

① 有機輸出できるもの

日本国内で生産、製造・加工、小分けされた有機農産物及び有機農産物加工食品で、

認証を受けた生産行程管理者等が適正に格付したものになります。

最終扱い者は、生産、製造・加工及び小分けのいずれでも良いが、日本国内で生産、製造・加工されたものに限られる。また有機農産物加工食品の場合の原料は、日本国内もしくは日本が同等と認めた国で生産されたものになります。

② 方法

TRACES と呼ばれるオンラインシステム (TRACES NT) を使用します。このため、輸出しようとする者は、あらかじめこのシステムに登録される必要があります。

輸出に際しては、このシステムを使用して、認証機関から輸出の単位ごと検査証明 (CERTIFICATE OF INSPECTION) (以下「COI」) の交付を受けて輸出します。この検査証明の交付は現在 2 段階です。

まず輸出品が日本を出港する前に EU 側にオンラインで送ります。この段階では TRACES が求めるすべての情報を掲載することができません。TRACES には B/L 番号などを記載する必要がありますが、これは輸出品が出港する際に発行されます。

このためすべての情報が判明した後、それらの情報を報告いただき、TRACES で COI に追加記載します。これで完成した COI を印刷し、認証機関が署名、捺印し、紙ベースの COI が交付となります。これを EU への荷物の到着前に EU 側の輸入者に送ります。

この一連の手続きにあたって登録認証機関は、輸出する製品が適正に格付されたものであることを書類などで審査して、適切であることを確認できたものに対して手続きを行います。

なおこれらの証明を発行できる認証機関は、EU 理事会で承認された機関になります。有機中央会は、承認された機関で、コード JP-BIO-004 になります。

③ 交付申請の様式

専用の様式があります。必要な際に請求していただきます。有機中央会では、輸出者登録、製品審査申請、交付申請とあります。

前項の作業を行うために、事業者のみなさんには申請を行っていただく必要があります。

また申請に係る書類の提出は、すべて電子データでいただくことになります。

3. スイス

基本 EU 諸国の場合と同じ方法となりますが、有機畜産物が追加されます。

① 輸出できるもの

有機 JAS 制度に基づき、最終的に日本国内で生産・加工され、格付がされた有機農産物、有機加工食品、(有機加工食品の原材料は日本国内もしくは日本が同等と認めた国で生産されたものになります)、有機畜産物。

② 方法

EU の TRACES NT を使用した方法に同じ。

③ 申請書

EU に同じ

4. イギリス（グレートブリテンおよび北アイルランド連合王国）

① 輸出できるもの

EU 諸国と同じです。

② 方法

輸出先で異なります。

ア) グレートブリテン（イングランド、スコットランド及びウェールズ）

認証機関より検査証明（CERTIFICATION OF INSPECTION FOR IMPORT OF PRODUCT FROM ORGANIC INTO GREAT BRITAIN）を製品の輸出単位ごとに交付を受けて、荷物に添付ないし別に送付します。この証明は、EU と異なる独自のものです。

イ) 北アイルランド

EU の TRACES NT を使用し、同じ方法になります。

③ 申請書類

ア) グレートブリテン（イングランド、スコットランド及びウェールズ）

検査証明の独自の様式があります。申請の際に請求してください。

イ) 北アイルランド

EU 諸国への様式と同じです。

5. アメリカ合衆国への輸出

① 有機輸出できるもの

日本国内で生産、加工、小分け包装された有機農産物、有機加工食品、有機畜産物。外国で生産されたものを日本国内で小分けしたものも対象となります。また原料の生産国の制限はありません。

有機 JAS 制度のもとで認証を受けた生産行程管理者等が適正に格付したものとなります。

② 方法

認証機関から輸出の単位ごと輸入証明（NOP IMPORT CERTIFICATE）の交付を受けて輸出する製品に添付もしくはアメリカの入港に間に合うように送付する。この発行にあたって登録認証機関は、輸出する製品が適正に格付されたものであることを審査して、適切であることを確認できたものに交付します。

③ 交付申請の様式

専用の様式があります。必要な際に請求していただきます。有機中央会では、輸出者登録、製品審査申請、交付申請とあります。

6. カナダへの輸出

① 有機輸出できるもの

日本国内で生産、加工、小分け包装された有機農産物、有機加工食品、有機畜産物。有機 JAS 制度のもとで認証を受けた生産行程管理者等が適正に格付したもの。

② 方法

認証機関から輸出の単位ごと輸出証明（EXPORT CERTIFICATE）の交付を受けて輸出す

る製品に添付もしくはカナダの入港に間に合うように送付する。この発行にあたって登録認証機関は、輸出する製品が適正格付されたものであることを審査して、適切であることを確認できたものに交付します。

③ 交付申請の様式

専用の様式があります。必要な際に請求していただきます。有機中央会では、輸出者登録、製品審査申請、交付申請とあります。

7. オーストラリア

① 有機輸出できるもの

日本国内で生産、加工、小分け包装された有機農産物、有機加工食品、有機畜産物。有機 JAS 制度のもとで認証を受けた生産行程管理者等が適正に格付したもの。

② 方法

特に証明書等の発行は、ありません。オーストラリアの有機制度では、第三者認証等の根拠に基づき「オーガニック」等の表示をすることができます。このため、適正に格付し、有機 J A S マークを貼付しておけば通用します。

③ 交付申請の様式

したがって、ありません。

8. 台湾

① 有機輸出できるもの

有機 JAS 制度に基づき、日本国内で生産・加工された有機農産物及び有機農産物加工食品。認証生産行程管理者が適正に格付したもの。

ただし、転換期間中の有機農産物、転換期間中の有機農産物を原料とした有機農産物加工食品は対象外

② 方法

輸出の単位ごとに輸出証明 (EXPORT CERTIFICATE FOR TAIWAN) の交付を認証機関より受け、製品に添付もしくは荷物の到着までに送付する。

③ 交付申請の様式

台湾用の申請様式があります。必要の際請求してください。

輸出者登録、製品審査申請、交付申請とあります。

●輸出する際の有機 JAS マーク、USDA マーク、EU ユーロマークなどの扱い●

1. 有機 JAS マーク

オーストラリア以外は、貼付は任意となります。オーストラリアは、それが第 3 者から認証を受けている証となりますので、貼付が欠かせません。

他の別途証明書を発行する国々は、証明書が有機の証明になります。有機 JAS マークは、証明にはなりません。したがって、貼付しなくても良い。任意です。なお、日本の有機食品を示すマークとして、つけている例は多い。

2. USDA マーク

アメリカに輸出することになり証明が発行される製品について、USDA マークを貼付することができます。あらかじめ日本国内で貼付し、アメリカに送りだすことができます。その際、NOP（アメリカの全米有機プログラム）の決まりにしたがって、使用することになります。

アメリカ以外の国に輸出するものや日本国内に流通させるものに使用することはできません。



3. EU のユーロリーフ

EU 諸国に輸出することになり証明が発行される製品について、EU の有機マーク（ユーロリーフ）を貼付することができます。あらかじめ日本国内で貼付し、EU 諸国に送りだすことができます。その際、認証機関コード及び EU 域外生産であることを示す文言（NON-EU agriculture）をマークの下に記載しなければなりません。有機中央会のコードは、JP-BIO-004



JP-BIO-004

Non-EU Agriculture

EU 以外の国に輸出するものや日本国内に流通させるものに使用することはできません。

●同等性国から同等性を利用した輸入の方法●

認証輸入業者が輸入し、有機 JAS マークを貼付して日本国内に流通させることになります。だれでもできるものではありません。

認証輸入業者は、有機 JAS マークを貼付する際、同等性国の政府機関もしくは農林水産大臣に認められた認証機関が発行する証明書を根拠に行います。認証輸入業者が有機 JAS マークを貼付して以降は、国内生産の有機食品と同じように国内流通できます。

玄米・精米の表示基準の変更

精米年月日から年月旬表示へ

2020 年の 3 月 27 日以降、精米年月日や調製年月日を、年月旬で表示できるようになっています。今後この表示方法にかかわります。移行措置期間は、2022 年 3 月 31 日までです。

●精米年月日は、精米時期。調製年月日は、調製時期。

●年月日は、上旬、中旬、下旬

上旬：1 日から 10 日

中旬：11 日から 20 日

下旬：21 日から 31 日

有機 2020 年の規格・基準の改正

【有機畜産物が指定農林物資となる 2020 年 7 月 16 日施行】

有機畜産物が指定農林物資になり、有機畜産物、有機畜産物加工食品、有機農畜産物加工食品も有機 JAS マークの貼付が、有機表示の義務となりました。

このことに伴い、有機畜産物も同等性の対象となり、アメリカ、カナダ、オーストラリア、スイスなどとは、同等性が成立しました。

【有機加工食品の日本農林規格改正】

有機加工食品の日本農林規格 [yuuki-172.pdf \(maff.go.jp\)](https://www.affrc.go.jp/yuuki-172.pdf)

有機畜産物が指定農林物資になったことから、有機農畜産物加工食品と有機農産物加工食品の名称が同じだった場合の特別のことわりが必要なくなりましたので、削除され第 5 条の名称の表示の項は、以下のようにになりました。

名称の表示

1 次の例のいずれかにより記載すること。

(1) 「有機〇〇」又は「〇〇（有機）」

(2) 「オーガニック〇〇」又は「〇〇（オーガニック）」（注）「〇〇」には、当該加工食品の一般的な名称を記載すること。

2 1 の基準にかかわらず、転換期間中有機農産物又はこれを製造若しくは加工したものを原材料として使用したものにあつては、1 の例のいずれかにより記載する名称の前又は後に「転換期間中」と記載すること。ただし、商品名の表示されている箇所に近接した箇所に、背景の色と対 照的な色で、日本産業規格 Z 8305（1962）に規定する 14 ポイントの活字 以上の大きさの統一のとれた活字で、「転換期間中」と記載する場合は、この限りでない。

【Q&A の改正】

有機農産物、有機加工食品、有機畜産物及び有機飼料の JAS の Q&A [yukiQA.pdf \(maff.go.jp\)](https://www.affrc.go.jp/yukiQA.pdf)

Q&A も改正されました。畜産物が指定農林物資に指定されたことに伴い改正されたところがほとんどです。

① 有機農産物・有機加工食品の Q&A と有機畜産物・有機飼料の Q&A が統合されました。このことで Q&A の名称もかわりました。

② 対象を「有機農産物及び有機農産物加工食品」とされていたところが、「有機農産物、有機加工食品及び有機畜産物」などと表現が変更になりました。

【天敵等生物農薬】

③ 天敵等生物農薬の該当する農薬に改廃がありました。2020年6月1日現在、以下の通りになります。

●問17-2 回答欄

・ B T水和剤（生菌、死菌を問わない） ・ アカメガシワクダアザミウマ剤 ・ アグロバクテリウム ラジオバクター剤 ・ アリガタシマアザミウマ剤 ・ イサエアヒメコバチ・ハモグリコマユバチ剤 - 61 - ・ イサエアヒメコバチ剤 ・ 非病原性エルビニア カロトボーラ水和剤 ・ オンシツツヤコバチ剤 ・ キイカブリダニ剤 ・ ギフアブラバチ剤 ・ ククメリスカブリダニ剤 ・ コニオチリウム ミニタンス水和剤 ・ コレマンアブラバチ剤 ・ サバクツヤコバチ剤 ・ シュードモナス フルオレッセンス水和剤 ・ シュードモナス ロデシア水和剤 ・ スタイナーネマ カーポカプサエ剤 ・ スタイナーネマ グラセライ剤 ・ ブッキーニ黄斑モザイクウイルス弱毒株水溶剤 ・ スワルスキーカブリダニ剤 ・ タイリクヒメハナカメムシ剤 ・ タラロマイセス フラバス水和剤 ・ チチュウカイツヤコバチ剤 ・ チャハマキ顆粒病ウイルス・リンゴコカクモンハマキ顆粒病ウイルス水和剤 ・ チャバラアブラコバチ剤 ・ チリカブリダニ剤 ・ トリコデルマ アトロビリデ水和剤 ・ ナミテントウ剤 ・ パーティシリウム レカニ水和剤 ・ パスツールリア ペネトランス水和剤 ・ ハスモンヨトウ核多角体病ウイルス水和剤 ・ バチルス アミロリクエファシエンス水和剤 ・ バチルス シンプレクス水和剤 ・ バチルス ズブチリス水和剤 ・ ハモグリミドリヒメコバチ剤 ・ バリオボラックス パラドクス水和剤 ・ ヒメカメノコテントウ剤 ・ ペキロマイセス テヌイペス乳剤 ・ ペキロマイセス フモソロセウス水和剤 ・ ボーベリア バシアーナ剤 ・ ボーベリア バシアーナ水和剤 ・ ボーベリア バシアーナ乳剤 ・ ボーベリア ブロニアティ剤 ・ ミヤコカブリダニ剤 ・ メタリジウム アニソプリエ粒剤 - 62 - ・ ヤマトクサカゲロウ剤 ・ ヨーロッパトビチビアメバチ剤 ・ ラクトバチルス プランタラム水和剤 ・ リモニカスカブリダニ剤

2021 年新年の講習会

特別栽培農産物の講習会

期日：2021年1月12日

有機農産物の生産行程管理者及び小分け業者講習会

期日：2021年1月28日及び2月4日

有機加工食品の生産行程管理者及び小分け業者講習会

期日：2021年2月10日及び2月17日

*** いずれもオンラインでの開催です。 ***